

09

産官学協同展

産官学協同プロジェクト展示報告

Industry-Government-University Collaborative Design exhibition

Industry-Government-University Collaborative Project Exhibition report

産官学協同研究センター・プロデューサー

デザイン学科・助手

Industry-Government-University Collaborative Design Center

Producer of Design Center

Department of Design・Research Associate

皆川 優介 Yusuke MINAGAWA

産官学協同研究センター長

デザイン学科・教授

Industry-Government-University Collaborative Design Center

Head of Design Center

Department of Design・Professor

梶田 渉 Wataru KAJITA



図1/産官学協同展ポスター

1 産官学協同展の概要

1.1 産官学協同展開催の意義と経緯

2000年以降、大学の教育現場において、かつての、理系や工学系や医学系の研究機関として大学に委託する「産学共同」だけでなく、地方の様々な大中小の企業と学生が一緒になってプロジェクトを組み、様々な経済活動の課題に取り組む文系の「産学協同」や、地方自治体の行政の課題やサービス、地域興しに向けた「地域連携」も、各地で盛んに行なわれる時代になった。多くの大学が「産学協同や地域連携」に取り組む中、全国のデザイン系の大学の「産官学協同」は、課題解決策がより具体的なカタチ(プロダクトデザイン、商品パッケージデザインや宣伝施策、Webデザインetc.)として可視化されるため重宝され、依頼件数が増え、授業のカリキュラムのひとつとしても、組み込まれるようになって来た。

わが名古屋学芸大学があるこの地は、日本の三大経済圏のひとつである「なごや」に位置し、周辺地域には大中小の企業が多く存在しており、行政の経済振興部や商工会議所の活動も盛んに行なわれている。そこで、2014年度より、あらためてデザイン学科発で「産官学協同プロジェクト」を運営していくルールを定め、本格的にスタートさせた。学生達の実学(アクティブ・ラーニング)によるデザインの専門スキルと社会力の向上と、名古屋学芸大学のプレゼンス向上を目的に推進し、その後、2015年11月に名古屋商工会議所との連携協定を結び、2016年4月には産官学協同研究センターを開設し、同時に当センターの活動をメディア造形学部附属とし、規程書を定めた。

こうして、2018年2月現在まで、産学協同は20案件、官学協同は7案件を実施。その中のほとんどの案件が実社会で販売する商品や施策として実現し、FOODEX JAPAN 国際食品・飲料展にて金賞・銀賞や、グッドデザイン賞 2015を受賞した。今後は当センターの活動を、他学部とも連携協力し、大学全体の取組みとして展開し、この東海地方において「地域連携や産官学協同に力を入れているのは、名古屋学芸大学がNO.1」と巷で言われるよう、広げていく所存である。

この度、2014年から2017年5月現在までの活動の成果を当大学のNUASギャラリーに一堂に集め、「産官学協同展」を2017年6月に開催することにした。これは2014年度からスタートした産官学協同プロジェクトの成果を学内外にアピールするとともに、過去3年間の活動を一度振り返り、課題を抽出して今後の活動に活かす狙いがあった。

今回の報告は、その展覧会開催時の様子をまとめたものである。

1.2 産官学協同展のプレスワーク

産官学協同展の開催を告知にあたり、ポスター（B1サイズ）（図1）と、フライヤー（A4サイズ）（図2）を制作した。メインビジュアルは、メディア造形学部棟と産官学協同研究センターが入る構図とし、撮影した。「産官学協同展」の文字を楽しげであり、活動的な造形にするため、幾度と各文字の配色の違いを試行した。背景にしている空の写真は連日、理想的な形の「雲」を追い求めてシャッターを切り続けて構成した。（AD&D皆川・CD&Typography 梶田）

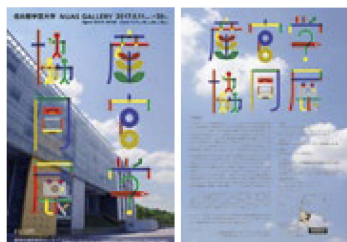


図2/産官学協同展 フライヤー

2 産官学協同プロジェクト展示

2.1 展示構成

2014年度から実施してきた産官学協同プロジェクトの中で、産学協同を11の企業で、官学協同を2つの行政での展示構成とした。展示台の機能を兼ねた木製パネルを90°に組み合わせた展示方法を考案した。ギャラリー正面には液晶モニターを設置にて各プロジェクトの様子を紹介、中央部展示は天井のピクチャーレールを使用し、L型アングルとワイヤーにて、宙吊り展示台とした。また、産学協同プロジェクト活動報告冊子とスタンドを設置し、自由に閲覧できるようにした。（写真1）

2.2 展示内容

(1) 産学協同プロジェクト

産官学協同展の展示内容については、パネル及び、バナーに「依頼内容」と「課題解決策」を表示して、わかりやすくした。

<株式会社バッファロー> CD:梶田・黄・柴田 (写真2)(写真3)

ハードユーザーにはBUFFALOの魅力が伝わっているが、ライトユーザーには伝わっていない

→ BUFFALOをより身近なものにするデザインの提案

「店頭ツール/パッケージの提案」「親しみやすいUSBの提案」「ギフトの提案」

<服部株式会社> CD:梶田 (写真4)(写真5)(写真6)(写真7)(写真8)(写真9)

布印刷の新しい価値や可能性を広げる商品開発

→ 布印刷の高い技術力を活かした「展示ブース」の新提案とデザイン

旗、幕、のぼりの印刷加工で100年の歴史がある服部株式会社から、布印刷の新しい価値や可能性を広げる商品開発の依頼

→ 品物を包むと表情が変わる「アイデア風呂敷」の新提案とデザイン

<エコバンク株式会社> CD:梶田・富安 (写真10)(写真11)

若いお母さんと子どものための黒豆オレの商品デザイン

→ 「黒豆五郎の黒豆オレ」FOODEX JAPAN 2015出展

美味しく食べるフルーツティーの商品デザイン

→ 「ハニーコンフィ シトラスミックス」FOODEX JAPAN 2015出展

美味しく健康美容応援オレの商品デザイン

→ 「ちゃせりんの抹茶ショコラオレ」

エコバンク株式会社のVI(ビジュアル・アイデンティティ)

→ ロゴマーク「確かな品質と創造的なアイデアで、人と地球に優しく」

<株式会社川ばた乃エクス> CD:梶田 (写真12)(写真13)

健康補助食品「しじみエクス」の情報開発と通販用パッケージデザイン

→ 木曾川産しじみの天然ミネラルパワー 亜鉛・銅・セレン・マンガン

<吉田麺業 有限会社> CD:富安 (写真14)(写真15)

伝統と実直とおいしさを伝え、

普段づかいとお土産用の両方に使えるパッケージデザインの提案

→ 「麺づくり風景のイラスト」「伝統のよしだ文字」のビジュアルと、

「創業明治23年」「尾張名古屋あらかの里」

「小麦粉と塩のみでつくった手わざの麺」のよしだ麺の情報とデザイン

<株式会社八百彦本店> CD:尹 (写真16)(写真17)

名古屋学芸大学オープンキャンパス用オリジナル弁当の商品開発

→ 「おもてなしごはん」

献立は管理栄養学科の学生が、パッケージはデザイン学科の学生で、製造は八百彦本店が担当したコラボレーション弁当

デパ地下で販売する、ヘルシーかつ彩り豊かなお弁当商品の開発

→ 「いるどりこぼこ」

献立(管理栄養学科):鶏肉のカレーピカタ、カラフルピーマンのナッツあえ

パッケージ(デザイン学科):3段式容器とグラフィックデザイン

<トヨタ車体株式会社> CD:大島 (写真18)

トヨタ車体創立70周年を記念するポスターデザイン

→ それぞれの車の半分に、走りのイメージビジュアルを表現

メッセージコピーは「カッコだけじゃない。クルマの未来は僕らが創る」

東京オリンピック2020に来日する外国人観光客に向けた、

「アルファード」「ベルファイアー」の新しいボディカラーを考える

→ 外国人観光客が日本の景勝地を訪問することをイメージして、

日本の伝統色から、学生ならではの視点から魅力的な色を抽出して提案

<株式会社デンソー> CD:梶田・尹・柴田 (写真19)

DENSOの製品・技術・デザインを一般の人々にもっとわかりやすく、

身近なものにできないか

→ 体験型の展覧会「DENSO わくわくの種 展」を名古屋市・栄にて実施

＜大阪シーリング印刷株式会社＞ CD: 尹 (写真20)(写真21)

生活を豊かする、これまでにない面白シールの商品開発

→ **最終提案76アイテム 壁に貼れる「ねこの手」シール商品開発決定**

＜株式会社三恵社＞ CD: 尹 (写真22)

誕生日や入学式などの特別な日に贈る絵本の提案

→ **記念写真を貼ることができる「メモリアルデー絵本」23点を制作**

＜株式会社日比谷花壇＞ CD: 齋藤 (写真23)

花と緑で人と人をつなぎ、人生に寄り添う日比谷花壇が、

名古屋駅KITTEに出店

その新しい花屋さんの壁を彩るイメージ映像を制作の依頼

→ **「循環」「連鎖」「浮遊」などをキーワードに、メンバーそれぞれが映像制作**

(2) 官学協同プロジェクト

＜日進市＞ CD: 梶田・皆川 (写真24)

日進市生涯学習情報誌PLANの表紙デザイン

→ **2007～年3回(秋・冬・春夏)表紙のイラストレーション制作**

日進市の企画「防犯啓発かるた」のグラフィックデザイン

→ **お年寄りから子どもまで、わかりやすく楽しいイラストレーション**

＜ふるさと全国県人会まつり＞ CD: 梶田 (写真24)

東海3県と37道県人会が中心となって毎年開催される

「ふるさと県人会まつり」用のうちわのイラストレーション

→ **「日本の秋を楽しもう」をテーマに「母のぬくもり」を描いた**

＜熊野市＞ CD: 平光・金 (写真25)(写真26)(写真27)(写真28)(写真29)(写真30)

熊野産の木材を使用した新たな特産品づくり事業

→ **「木製ベンチ」「市職員のピンバッジ」「熊野材を活用した特産品の提案」
「オーナー制度のバス停デザイン提案」「市庁舎の会議室と化粧室の扉」**

(3) 産官学協同展を終えて

＜皆川＞この度、2014年度より本格始動した産官学協同プロジェクトの成果を公表する良い機会を得た。在学生、教員、プロジェクトに参画いただいた企業・行政のご担当者様、これから参画予定の企業・行政のご担当者様、大学に来られたお客様と、加えてオープンキャンパスにおいての高校生と親御さんなどを含め、500名を超える方にご高覧をいただいた。その中で、“1つ1つのデザインに生を感じた”“自分で考えたものが形になるのは素敵”“自社でも何か行なってみたい”“素晴らしい発想とプレゼンテーション”“この大学に入って、私もプロジェクトに参加したい”など、温かいコメントをいただいたことが展示運営の励みになった。

これからも、産官学協同プロジェクトの実施を継続することこそ、まさに実学として学生の“実”になることを信念として、その活動を大学全体に上げられるよう、プロデューサーとしてサポートしていく。同時に広報のパイプ役として、活動の記録をまとめ、Webでのニュース掲載とアーカイブ化を推進していく。次回の産官学協同展開催に向けて、日々精進していく所存である。

＜梶田＞2014年に産官学協同プロジェクトをスタートした当初から、相手先の依頼に課題解決策を提案するだけでなく、できる限り、その提案を採用してもらい、実際のカタチにして世の中に送り出すこと、同時に、それぞれの活動の川上から川下までの過程と成果を記録に残すことにこだわって来た。こうして、プロジェクトの幾つもの実績が冊子になり、蓄積されている。そして、蓄積するだけでなく、メディアに取り上げてもらえるよう、積極的にこちらから情報提供を行い、新聞や雑誌の記事にってもらったり、テレビで取り上げてもらったりして来た。それは、本学の学生達のクリエイティブの力を学外にアピールしたいと同時に、名古屋学芸大学のプレゼンスを向上させたいという思いからである。やがてこうした活動が、より熱意のある学生が本学に集まることにつながると信じているからでもある。

一方で、これらの実績を学内にこそ、もっともっと知ってもらい必要があると考え、オープンキャンパス時のタイミングに合わせて、学外のお客さま向けだけでなく、学内の多くの人にも観てもらいたいと、産官学協同展をNUASギャラリーで開催した。

こうして、産官学協同研究センターの活動を、メディア造形学部から他学部との連携協力へと広げ、大学全体としての取り組みや組織づくりへと加速させたいと考えている。

3 産官学協同研究センターの今後の課題

当センターの活動が、大学全体の活動へと広がりつつある中、しっかりとしていながらも、フレキシブルな組織づくりと、その運営スタッフの確保が必要であると考えている。その中でも、特に、それぞれのプロジェクトを推進するプロデューサーの増員や育成を考えて行かなければならない。

4 謝辞

産官学協同展開催にあたり、ご多忙中ご高覧いただきました皆様、産官学協同プロジェクトを実施いただきました企業、株式会社バツファロー、服部株式会社、エコバンク株式会社、株式会社川ばた乃エクス、株式会社八百彦本店、吉田麵業有限会社、株式会社日比谷花壇、トヨタ車体株式会社、株式会社デンソー、大阪シーリング印刷株式会社、株式会社三恵社。行政の日進市、熊野市(順不同)のご担当者様、本学メディア造形学部長 渡部眞 教授、産官学協同研究センター長 梶田 渉 教授、各プロジェクトCDご担当教員、展示設営において、ご尽力いただきましたセントラル画材株式会社様、西野圭一郎 助手、秦慎太郎 助手、関義幸 助手、中藤寛子 助手、土屋小春 助手に深く感謝し、厚く御礼申し上げます。



(写真1) NUASギャラリー <全景>



(写真2) パッファロー <汎用性の高い販促情報POP提案/可変型パッケージの提案/赤色+パターン柄によるVisual Identityの再定義>



(写真3) パッファロー <おもいでばこ新使用方法・ギフト提案/寄せ書きギフトパッケージ提案/親しみやすいUSBの提案>



(写真4) NUASギャラリー前ピロティ/服部 <NUASブース>



(写真5) NUASギャラリー前ピロティ/服部 <NUASブース>



(写真6) 服部 <アイデア風呂敷「鯉包み」>



(写真7) 服部 <アイデア風呂敷「お弁当包み」>



(写真8) 服部 <NUASブースコンセプト/プロジェクトの様子>



(写真9) 服部 <アイデア風呂敷>



(写真10) エコバンク <Visual Identity/ホームページ>



(写真11) エコバンク <黒豆五郎/ハニーコンフィ/ちゃせりん>



(写真12) 川ばた乃エキス <コンセプトパネル>



(写真13) 川ばた乃エキス <パッケージデザイン>



(写真14) 吉田麺業 <コンセプトパネル>



(写真15) 吉田麺業 <パッケージデザイン>



(写真16) 八百彦本店 <コンセプトパネル>



(写真17) 八百彦本店 <おもてなしごはん/いろどりこぼこ>



(写真18) トヨタ車体 <開発部門創立70周年記念ポスター/車体カラー提案>



(写真19) デンソー <体験型展覧会「わくわくの種 展」>



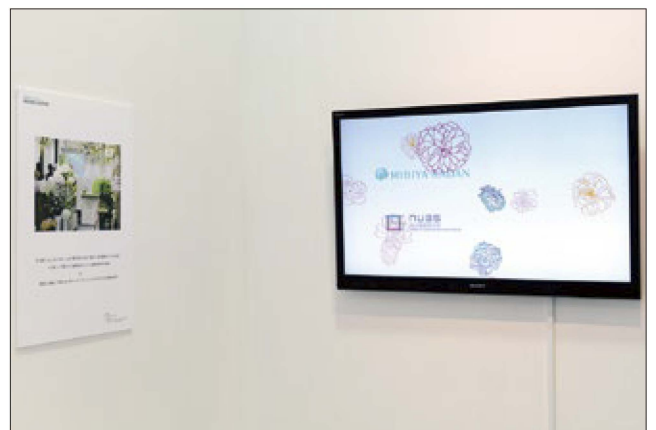
(写真20) 大阪シーリング印刷 <コンセプトパネル>



(写真21) 大阪シーリング印刷 <壁クリップシール「ねこの手」>



(写真22) 三恵社 <メモリアルデー絵本>



(写真23) 日比谷花壇 <新店舗プロジェクト用イメージ映像>



(写真24) 日進市 <生進学習情報誌 PLAN表紙> 日進市 <防犯啓発かるた> ふるさと全国県人会まつり <うちわ>



(写真25) 熊野市 <市職員のピンバッジ>



(写真26) 熊野市 <木製ベンチ>



(写真27) 熊野市 <オーナー制度のバス停のデザイン提案>



(写真28) 熊野市 <熊野市庁舎の会議室と化粧室の扉>



(写真29) 熊野市 <熊野材を活用した特産品の提案>



(写真30) 熊野市 <熊野材を活用した特産品の提案>